

4. カリキュラムの立て方

(1) カリキュラムに必要な情報を収集する

カリキュラムを立てるにあたり、以下の方法で情報を集めることが考えられます。

A.保護者への調査票配布や聞き取り (p.37-38)

B.幼稚園、保育園、認定こども園、その他託児所等からの聞き取り

C.子どもへの語彙調査(「プレスクール実施マニュアル」(2009), 愛知県, p.30)

特に、「子どもの母語と日本語の能力」と「日本での生活や文化に対する適応度」はカリキュラムでどんな内容をどれくらい扱うか考えるために重要です。

例えば、来日間もない子どもや、日本の幼稚園や保育園、認定こども園に行っていない子どもの場合、他の子どもと集団で活動することや、学校生活で必要となる、箸やトイレなどの使い方に慣れることが重要かもしれません。一方、上記の園等に通っていて、日本語もある程度話せる子どもの場合は、学校生活の具体的なルールを覚えたり、文字の読み書きをしたりすることを中心に、カリキュラムを立てることも考えられます。また、個別に特別な支援が必要であると思われる場合は、早めに適切な専門機関へつなぎ、どのような対応が望ましいか、専門家や保護者と話し合うことが大切です。

(2) プレスクールの目的を決める

参加する子どもたちの状況を把握できたら、まず、そのプレスクールで目指すことを決め、運営スタッフ全体でしっかり共有することが大切です。また、毎回の授業の後に、目的に合った活動ができたかどうか、という視点でふりかえりましょう。

例えば、「外国につながる親子が安心して学校に行けるようになる」という目的であるなら、その日の活動で「親子は安心できたでしょうか？」と見直してみましょう。ひらがなや数字の練習に時間が長くかかりすぎて、「安心してもらう」ための活動がおろそかになっていなかったでしょうか？ 保護者への説明が一方向的だったり、わかりにくい話し方になっていたりしなかったでしょうか？ 活動内容が適切だったかどうかは、目的に立ち返ることで見えてきます。

(3) カリキュラムの構成

目的に合わせて、日本語や学校生活に関する項目などについて、何をどのくらい指導するか考えます。例えば、日本語なら「ひらがな 50 音の読み」「あいさつ」「自己紹介」など、学校生活に関する指導なら「学校に持っていく物」「給食」「学校への行き方」など、子どもたちに合わせて、取り上げる項目を選びます。それらを、プレスクー

ルの回数に合わせて、配分していきます。なお、1回の授業には、以下の3パターンの活動が組み合わされていることが多いです。

- A. 毎回繰り返し行うもの ※授業の初めや最後に行う
例：あいさつ、宿題の説明やチェック
- B. 毎回または定期的に行うもの
例：歌、色、数字、図形、読み聞かせ（※できるだけ多言語で行う）
- C. 学校生活に関する活動 ※毎回異なるテーマで行う

(4) カリキュラム作成の際の留意点

(1) でも述べたように、参加する子どもの状況や、人数、国籍等によって、限られた期間でできること、取り上げなければならないことは変わります。そのため、一度作成したカリキュラムは、毎年見直す必要があります。

また、毎回の授業で少しずつ様々な活動ができるように、全体のカリキュラムを構成し、子どもたちが常に集中できるように、活動の区切りは10分程度にするように工夫しましょう。

(5) カリキュラムの例

本マニュアルでは、「外国につながる親子が安心して、笑顔で入学式を迎えることができる」ようになることを目的として、学校生活を体験できる活動を中心とした計10回の授業を想定し、以下のモデルカリキュラムを作成しました。

ユニット1から10まで、活動内容や指導する言葉の難易度、および学校生活での重要度を基準に構成しています。ただし、必ずこの順番ですべてのユニットを実施しなければいけないという意味ではありません。プレスクールの対象者、期間や回数など、必要なユニットを選択して使えるように、モジュール型カリキュラムとしました。

	タイトル	到達目標	覚える言葉や表現
ユニット1	友達になろう	①あいさつができる ②先生の指示を聞いて、学校生活で必要となる基本的な行動ができる ③自分の名前が読める 自分の名前を聞かれて、答えることができる ④簡単な応答ができる	①おはようございます／こんにちは／こんばんは／さようなら ②立ちましょう／座りましょう／手を挙げましょう／書きましょう／読みましょう／やめましょう ③（わたしは／ぼくは） <u>自分の名前</u> です。 ④はい／いいえ／わかりません

ユニット2	いろいろ書いて/ 描いてみよう	①基本的な筆記用具の名前 がわかる ②鉛筆を正しく持つことが できる 鉛筆で書いたり、消しゴ ムで消したりすることが できる ③いろいろな文房具の名前 がわかる ④いろいろな文房具を正し く使える	①筆箱／鉛筆／消しゴム／ノート ／下敷き／定規 ②書きます／消します ③のり／色鉛筆（クレヨン、クー ピー等）／はさみ／鉛筆削り
ユニット3	学校へ行こう 【持ち物編】	①ランドセルについて知る ②学校に持って行く物の名 前がわかる ③学校に持って行ってはい けない物がわかり、学校 へ行く準備ができる	①(学校へ)行きます／ランドセル ②(～に)入れます／帽子／上靴／ 上靴の袋／水筒／教科書／ノー ト／筆箱／ハンカチ／ティシュ ③いい／だめ
ユニット4	学校へ行こう 【交通ルール編】	①自分が通う学校がわかる ②信号の意味がわかる ③横断歩道の渡り方がわか る	① _____ 小学校（通学予定の 学校名）／（～へ）行きます ②信号／赤／青／黄色／（横断歩 道を）渡ります／止まります／ 危ない ③右／左／見ます
ユニット5	学校を探検しよう	①学校の中の場所の名前が わかる ②トイレの使い方がわかる	①教室／保健室／図書室／音楽室 ／職員室／体育館／運動場／勉 強します／（保健室に）行しま す／（本を）読みます／歌いま す／（先生が）仕事をします・ （先生が）います／運動します ②トイレ／（トイレに）行って もいいですか／座ります／流しま す
ユニット6	給食を食べよう	①給食について知る ②給食で使う物がわかる ③給食の準備がわかる	①給食／食べます ②エプロン／マスク／帽子／給食 袋／おぼん／箸／お椀／お皿

		④給食のあいさつがわかる ⑤給食の後片付けがわかる	③待ちます／並びます／座ります ④いただきます／ごちそうさまでした
ユニット7	掃除をしよう	①掃除道具の名前がわかる ②掃除道具の使い方がわかる	①掃除／ぞうきん／バケツ／ほうき／ちりとり／ごみ箱 ②拭きます／汚いです／きれいです／掃きます／捨てます
ユニット8	元気に動こう	①体育について知る ②体育の時間に着る服、用意する物がわかる ③体育時など、集団行動において使う言葉がわかる ④ラジオ体操を体験する	①体育 ②使います／体操服／赤白帽／運動靴／体育シューズ ③並びます／前（へ）ならえ／小さく前（へ）ならえ／三角座り（体育座り）／休め ④体操をします／ラジオ体操
ユニット9	体の名前を覚えよう	①体の部位の名前がわかる ②体の調子を伝えることができる ③自分の作品を発表できる	①頭／肩／膝／手／目／耳／口／鼻／おなか／歯／眉(毛)／髪／顔 ②痛いです ③見てください／私の <u>顔</u> です
ユニット10	お弁当を作ろう	①お弁当について知る ②お弁当によく入れるおかずや食べ物の名前を知る ③箸の持ち方がわかる	①遠足／お弁当 ②おかずや食べ物の名前（ご飯・卵焼き・唐揚げ・サラダ・りんご・トマト等）／好きです／嫌いです／お弁当箱 ③箸／持ちます（使います）